

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2025年 11月 22日

事業所名: 放課後等デイサービス
えるいーすと

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	0	0	いーすと内での過ごし方や共有スペース使用の過ごし方等、工夫して遊び等の提供をしている。	18	2	0	0	引き続き、利用人数や活動内容に応じて、レイアウトを変える等して、動きやすいスペースを確保する。長期休暇・祝日・土曜日等においては外活動も取り入れていく。特性等に応じた環境作りをしていく。
	2	職員の適切な配置	4	1	0	送迎や急な対応を想定し工夫していく。	21	1	0	2	引き続き保護者には契約時等に説明していくようにしていく。 勤務体制表を玄関に掲示していく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	4	0	0	スケジュール等は写真やカードで視覚化している。 引き続き見て分かるような環境設定を行っていく。	22	1	0	0	引き続き、特性に応じた環境作りをしていく。 保護者の方に見に来てもらう機会を設け、毎月のおたよりにて知らせていく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	0	0	引き続き朝・夕の掃除を行っている。 各スペースに空気清浄機等を設置している。	22	0	0	0	引き続き、朝夕の掃除を行い、こまめに換気や消毒を行っていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	4	1	0	引き続き週2回の全体のミーティング等で児童や事業所間の話し合いをし、利用児童の支援に活かしている。					引き続き、職員のミーティング等で振り返り等を行っていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施									検討中
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4	1	0	外部を含めての研修会でスキルアップに繋げている。					引き続き行っていく。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	5	0	0	ホームページに記載している。	20	0	0	1	引き続き行っていく。
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	5	0	0	相談支援事業所、保護者、他事業所・学校の先生方支援会議・モニタリングをして、課題や共通目標や保護者ニーズを把握確認し、支援計画案・書を作成している。また、中間評価も定期的に行い支援計画に反映させている。	20	2	0	0	引き続き行っていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	5	0	0		21	1	0	0	引き続き行っていく。
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	0	0	小集団活動はプレイルームでの感覚統合療育、個別活動では手作業などの作業的なもの（微細活動）を取り入れ支援を行っている。					引き続き小集団活動での感覚統合療育（プレイルーム）を取り入れ個別活動での手作業等計画に記載し、児童の具体的目標を明確にしていく。
適切な支援の提供（ 続き）	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5	0	0	ミーティングを行い、アセスメント・モニタリング・支援会議・相談などの内容を職員間で共有し、支援している。	22	0	0	0	引き続き、保護者とのやりとりや子供の特性に応じた支援をしていく。
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	5	0	0	遊びや支援の仕方などを事業所内で話し合いながら立案している。イベント等合同での活動時は事業所全体で話し合いをしている。					引き続き、行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	5	0	0	五領域に沿った日替わり活動を取り入れ、毎日違った内容の活動を行っている。	19	2	0	1	引き続き、保護者にもわかりやすいように毎日の連絡ノートに記載していく。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	5	0	0	休日・土曜日・長期休暇等は前もってどのような遊びをするかを話し合い、子どもたちが意欲的に楽しめるような活動に取り組み、支援につなげている。					事業所に庭がない為、引き続き、天気の良い時は半日、外に出かける機会を作っていくなどスケジュールを考えていく。
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	5	0	0	毎日の朝礼にて、役割や支援内容や児童の様子などの確認を行い、共有している。					引き続き、行っていく。
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	1	0	終礼等で日誌やケースノートを使用し、その日の振り返り職員間の情報の共有を行っている。					引き続き、行っていく。
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5	0	0	個別記録表の記入はタブレットで記録し、最後に個別に細かく記入し、話し合いをし、支援の検証し・改善につなげている。					引き続き、行っていく。
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5	0	0	定期的にモニタリングを実施し、計画の評価や見直しについては期間を決めておこなっている。 今後も続けていく。					引き続き、行っていく。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	5	0	0	事業所内において担当者が、評価確認を行い、朝礼等で職員間で話し合い、児童発達管理責任者が参加している。					引き続き、行っていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	4	1	0	医ケア利用児に関してはケアルームにて担当の先生と送迎のスタッフで体調や様子をお聞きし、必要なことを確認している。					引き続き、行っていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	4	1	0	学校へお迎え時、ケアルームとの連携を図っている。何かの時の救急搬送病院等もお聞きしている。					引き続き、行っていく。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	1	0	相談支援事業所や発達支援課からの資料や、保護者からのアセスメント等で確認を行う。また、関係機関へ出向き、引継ぎをさせて頂いている。					引き続き、行っていく。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	5	0	0	相談支援事業所との引継ぎを行った。					引き続き、行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	3	0	市のこども部会や専門機関での研修に参加したり、支援会議等で連携を行っている。					引き続き専門機関での研修等は、スキルアップの為に参加できる時は参加していきたい。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	2	1	一緒に活動する機会は少ないが、地域で過ごしやすいような場所を考え、お出かけの場を作った。	9	1	1	10	障害のない子供たちも参加するイベント等にお出かけする機会はあるが、交流があるといえるほど関わりがあるかわからない。 イベントやお出かけ時等で地域交流してくれている。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に関かれた事業の運営	1	1	3	周辺にマンションや高齢の方が多い為、地域交流は難しいが、積極的に挨拶や周辺散策を行ってきた。					知ってもらう為に事業所周辺のお散歩等をして、地域の人とあいさつ等をかわして、放デイの事を知ってもらう機会を作っていく。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	0	0	契約時に保護者の方と面談し、相談支援事業所間でのサービス計画案に基づき、アセスメントや支援内容を具体的に決め、重要事項説明時には、利用者負担等についてもしっかりと事例を出し、説明している。	22	0	0	0	引き続き書面や口頭での説明をしっかりと行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5	0	0	引き続き、計画の更新や支援内容の変更に伴い、丁寧な説明を行っていく。	22	0	0	0	引き続き、計画案・書を説明して確認を怠らないようにしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	5	0	0	保護者会お茶会でのペアレントトレーニング等を行っていくが、相談の都度、個別に助言等を行っている。	15	1	1	15	引き続き、お茶会でのペアレントトレーニングの支援を心がけ、資料の配布等も行っていく。また、個別の対応もしていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5	0	0	連絡ノートに状況や遊び等の様子を伝え、帰りの送迎時や保護者のお迎え時にも共有している。また、必要に応じて電話や口頭で伝えている。	20	1	0	1	引き続き、行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	0	0	モニタリングや支援会議を通して、相談を話し合ったり、連絡ノートでの対応や送迎時の会話・電話などでの助言を行っている。	19	2	0	1	引き続き、行っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	5	0	0	保護者お茶会を設け、保護者同士の交流や情報共有を行っている。講演会やワークショップを企画し、保護者間や職員の交流を促している。	19	1	0	2	内容に関しては、保護者同士が話しやすい、知りたいことを聞ける場所を提供できるよう検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	3	2	0	苦情ボックスを玄関に設置している。苦情等はないが、契約時に設置している旨を伝えている。	18	0	0	4	苦情を言ったことがないが、玄関に受付箱等あることは知っています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5	0	0	毎日の連絡ノートや電話でのやりとりを保護者と行っている。	20	0	0	1	引き続き、保護者とのやりとりや子供の特性に応じた支援をしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	0	0	えーるだよりを発行したり、室内掲示などでお知らせをしている。	20	1	0	1	引き続き、行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5	0	0	職員においては入社時、個人情報取り扱いに関する誓約書を、保護者の方とは個人情報に関する同意書及び契約書にて説明し、同意印を頂いている。その他、職員については定期的に研修を行っている。	20	0	0	2	引き続き、しっかりとした取り扱いを行っていく。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	0	0	玄関先に各マニュアルを配置していて、職員も周知している。必要に応じて保護者に説明を行っている。職員は定期的に研修を行っている。	18	0	0	4	引き続き、行っていく。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	5	0	0	1ヶ月に1回、いろんな災害を想定しての避難訓練を行っている。保護者への引き渡し訓練も1年に1回行っている。	20	0	0	1	毎月行ってくれて、ありがたいです。	引き続き、行っていく。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	5	0	0	服薬やてんかん等については、契約時に、保護者の方にお聞きしたり、その都度、情報共有したりしている。						引き続き、保護者の方々には、薬が変わったり、増量した時、発作がある時等は伝えてもらい、事業所内で共有していく。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	3	2	0	アセスメント時に、確認事項に記載している。 今のところは、利用児童に食物アレルギーのある児童がいない。						食物アレルギーのある児童が利用する間合いはしっかり確認、情報共有していく。
	5	安全管理の徹底	5	0	0	毎月の安全点検に加えて、日々の環境整備を徹底し、子供たちが安全な位過ごせるようにしている。						引き続き、行っていく。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	5	0	0	災害時伝言代安(171)についてを配布、掲示、引き渡し訓練の実施、安全計画マニュアルを玄関先に設置と必要に応じて保護者にも説明を行っている。						引き続き、行っていく。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	0	0	事例を作成し、事業所内や事業所全体間で、対策を話し合っている。						引き続き、行っていく。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	5	0	0	職員研修や虐待防止委員会を定期的に行っている。また、講師の方を呼び、講演して頂いている。						引き続き、行っていく。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5	0	0	車いす・バギー(腰ベルト有)・ヘッドギアを使用する利用児には、契約時に説明をし、保護者の方の同意を頂いている。支援計画にも記載し、カンファレンスをし、活動プログラムまたは記録に記載している。						引き続き、車いす・バギー(腰ベルト)・ヘッドギアを使用する時は、本人の体調等も見つつ、安全な時は腰ベルトを外したり、ヘッドギアを外す時間を作っていく。